



No.2200 試験用サイズプレス(インクライン型)

紙質の高級化、多様化に伴い、要求される品質も多岐多用にわたっており、特に印刷適性に対する要求も高度化しています。本来サイズプレスは抄紙機のプレスパートにおいて、脱水プレス後の湿紙に対して紙の表面強度を上げ、或は印刷適性向上を目的として、サイズ液を2本ローラで紙表面に塗工する表面サイジング方式です。従来のビーター添加による内面サイジング方式より効果的でしかも低コストです。更にサイズプレスはトップコートの下塗り用としてもオンマシンコーティングに数多く採用され、紙質及び印刷適性の向上に多くの役割を果たしています。本機はこれらの実機の条件を最大限取り入れ、しかも再現性、作業性も充分満足できる機構を採用した試験用サイズプレスです。その構造は、特殊材質の2本のロールを35度傾斜して並べたインクライン型プレスで、試料液槽から配管によりサイズ液をロール上に送り出し、ロール間に液のダムを形成させ、半乾燥或は乾燥紙(無サイズ)をこのサイズ液中に通し、直ちにロールニップによりプレスする方式です。

オプションとして温水・循環装置を設け、プレスロールの加温機構をすることもできます。

ニップ圧	50～250N/cm
プレス速度	40～100m/min (オプション 150m/min)
試験紙	標準巾 250mm 最大幅 300mm 最大長 600m
プレス方式	枚葉又は巻取
付着量	0.5～3g/m ²
モーター	3相 200/220V 50/60Hz 0.75kW
オプション	塗布液循環 ロールジャケット温水循環
塗布液タンク	ジャケット付サイズ液槽 (オプション)
循環ポンプ	モノフレックスポンプ モーター 単相 100/110V 0.1kW
ロール加温	室温～80℃ 温水循環による 恒温水槽 (オプション)
エア源	0.5MPa
外形寸法	1200×1100×1400mm
重量	525kg